



東海大学大学院 2018年度 家族看護研究会

家族看護学研究室では家族看護を様々な理論やツールを用いて事例分析を行っています。

今回は、

慈恵医科大学病院 児玉 久仁子先生

を迎え、システムアズプローチを用いて事例分析を行います。



事例紹介

低出生体重児で生まれた児。

母親は病に伏せ、父親や祖父母にも協力を得られない環境の中で、退院に向けてどのような家族支援が必要か？

プロフィール: 児玉 久仁子

(東京慈恵会医科大学付属病院、家族支援専門看護師、家族看護実践センター)
現在は、コンサルテーション活動のほか、家族看護実践センターにて看護職への教育活動を行っている。

著者に、DVDブック臨床での家族支援、1～3(日本看護協会出版会)がある。

2018年4月28日 土曜日

13:00～16:00

場所: 大学伊勢原キャンパス 3号館1階会議室

アクセス: 小田急小田原線「伊勢原駅」下車徒歩20分

バス10分(東海大学病院下車)

問合せ先: 0463-93-1121(代表) 担当; 井上

研究会ホームページ: <http://kazokuns.ihs.u-tokai.ac.jp>

メールアドレス: kazoku@tokai-u.jp

